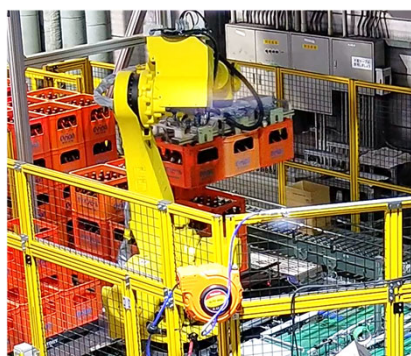


令和5年度沖縄域外競争力強化促進事業費補助金の成果概要

事業実施主体	オリオンビール株式会社
プロジェクト名	「海外向け沖縄発クラフトビール販路拡大PJ」 ～ロボットケーサー導入による増産体制の確立～
事業内容	<p>海外のクラフトビール市場は年々拡大しており、当社ではオリオン ザ・ドラフトなどの輸出事業を強化しています。本補助金を活用し、以下の2点に取り組みます。</p> <p>① ロボットケーサーの導入： 海外向けびん製品の箱詰め替え作業を、手作業から産業用ロボットによる自動化へ移行し、今後の製造量増加に対応できる生産体制の強化を図ります。</p> <p>② 海外向けワンウェイ軽量びんの導入： びん容器の軽量化により、輸送効率の向上を目指します。</p>
今後の計画	<p>海外向けワンウェイびんビール製品：</p> <p>令和6年度：65千函（実績） 令和7年度：125千函 令和8年度：155千函</p>
最終目標と現状	<p>主要な輸出先である台湾や米国などでは、大びんおよび中びんのワンウェイ軽量びんへの切り替えに成功しています。その他の輸出先においても順次切り替えや小びんのワンウェイ化、販路拡大に継続して取り組み、輸出目標の達成と輸送効率の向上を図ります。</p>
補助事業の効果	<p>① ロボットケーサーの導入： ポリ箱に詰められたワンウェイびんビール製品を、海外向けダンボール箱（カートン）へ詰め替え、パレットに組付ける作業の自動化を実現しました。これにより、従来の手作業と比較して、作業者の肉体的負担が軽減されています。また、手作業と比べて最大2.9倍の処理速度があり、生産効率が向上しました。</p> <p>② 海外向けワンウェイ軽量びんの導入： 海外向けワンウェイびんを特注し、従来のリターナブルびんと比べて26～37 % 軽量化しました。これにより、40フィートコンテナあたりの積載量は1.1～1.2倍となる見込みです。物流輸送におけるScope3（カテゴリ9）に該当するGHG排出量の削減にも貢献できることが期待されます。</p>



① ロボットケーサーによる箱詰め替えの様子



② コンテナ積載の一例（大びん）